



ブルードX

電気自動車のテスラで有名なイーロン・マスク氏によるスペースXを思い起こさせる何ともカッコいい感じのする名前ですが、「ブルードX」というのは、自動車でもなく、宇宙開発にも関係のない、セミの集団の名前です。

「ブルードX」は、17年周期で大量発生する周期ゼミと呼ばれるセミの集団で、今年はその発生年に当たります。私は、2008年よりワシントンDC近郊で生活していますが、13年前であったため、前回の大量発生には遭遇していません。

そのため、このような現象が起こることは全く知りませんでした。今年の5月後半に入ってから、やたらと多くのセミを目撃するようになり、6月になると森林に近いエリアではセミの鳴き声がジェット機の轟音かと思うほどの凄まじい音となり、米国の東部において総勢数十億匹にも及ぶとされる大量発生を体感することになりました。写真に撮りましたように、地面のあちこちにはセミが這い出してきた穴が残っています。

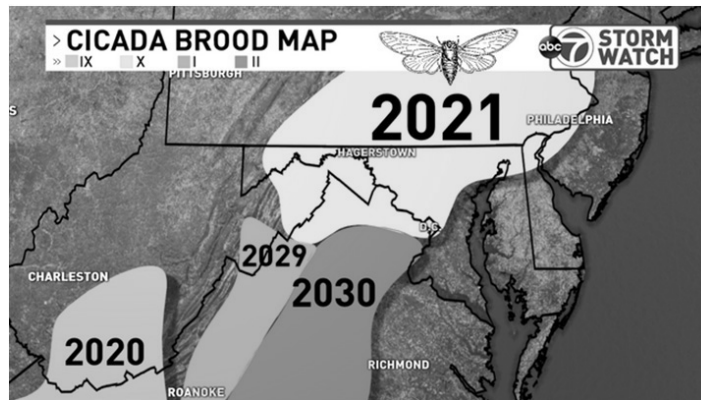
私は昆虫好きとかではありませんが（どちらかと言えば嫌いですが）、あまりにもたくさんいるため、イヌの散歩がてらまじまじと観察するようになりました。また、「ブルードX」に関するテレビのニュースやネットの記事などにも興味を持つようになりました。

「ブルードX」が出現する17年という周期の理由は完全には解明されていないようですが、大量発生することで捕食者を圧倒し、ブルード全体が生き延びて繁殖する可能性を高めていることについては異論がないようで

す。ただし、どのようなメカニズムで17年をカウントしているのかについては、いまだ謎のままです。また、地球温暖化は、このような周期ゼミのサイクルにも影響を与えており、17年ゼミの中には、成長期が早まりわずか13年で出現するものも出てきているようです。

ABCニュースで天気予報のようなマップが紹介されていたのも面白いですが、あまりにも大量に発生しているせいか、食べてみようと思いついた人々がいるのも驚きです。ちなみに、英語でセミは“cicada”と呼ばれますが、こちらでは、セミのチョコレート（Chocolate Covered Cicadas - Limited Edition - 2021）なるものが登場しました。ワシントンDC近郊のメキシコ料理店では、セミタコス（Cicada tacos）が季節限定メニューとして話題となりました。タコスのシェルにそのままポンとのせて盛り付けられているため、チョコで覆われているセミチョコよりも（シルエットはセミですが、セミ自体は外からは見えません）、さらに生々しいものとなっています。

セミの大量発生は、人間だけでなく、イヌにも食してみようと思う気持ちを抱かせるようです。我が家のイヌも、木に止まっているセミに食らいついたり、低空飛行しているセミを見つけてはジャンピングキャッチを試みたり、散歩の際には本当に気が抜けないことになってしまいました。どれだけ気を付けて止めようとしても、とにかく大量にいるため、イヌが何回かセミを口に入れてしまう事



ABCニュースより引用



地面のあちこちに残ったセミの穴



セミと抜け殻



犯行現場

態が発生 (!)。しかしながら、興味深いことに、美味しいやつと美味しくないやつとあるようで、そのまま食べてしまう場合と、吐き出してしまう場合があります。もしかしてオスとメスの違いかな? と思ったりもしますが、真相はわかりません。

食べてみようと思う人がいるくらいですから、特許もあるのかなと思ひ、米国特許商標庁 (USPTO) のサイトで、発行済み米国特許のタイトルで“cicada”を含むものを検索してみました。ヒットしたのは2件のみで、「セミ用のトラップ」と、「セミによる損傷を防ぐコーティングを施したオプティカルケーブル」に関する発明でした。なお、今回の大量発生を機に新たに特許出願しようと思う人々もいるかもしれませんが、ご存知のように、出願公開されるまでは第三者である私達には知る由もありません。

今回の「ブルードX」の大量発生は、普段気にも留めなかったものに興味を抱くきっかけとなるとともに、17年という、普段あまり目安としない時間枠 (誰でも5年後、10年後のことは何となく考えると思うのですが、17年後というのはあまりないですね) について考えることになり、17年後の自分や世界について思いを巡らせる機会となりました。

筆者紹介



加藤奈津子 (かとうなつこ)

世界各地に展開するUnited GIPsの米国グループ事務所 United IP Counselors, LLC代表。米国パテント・エージェント。京都大学法学部卒業。ワシントンDCのジョージワシントン大学大学院にて米国知的財産法の修士号を取得するとともに、パテント・エージェント受験資格を得るに十分な技術系の単位を米国の大学にて取得。趣味はスポーツ観戦。ワシントンDC近郊在住。